届け 世界の果てまでも

令和５年３月２４日　Ｎｏ．７５（最終号）　文責　校長　飯久保一男

前号No.７４【卒業おめでとうございます！】は６年生の保護者のみに配付しました。ホームページからご覧ください。
なお，本号は，６年生が卒業したため家庭数が変わり，家庭数の把握ができていませんので，児童数で配付 します。

カッコイー小笠原小学校に

春休みは，子どもたちが学年の終わった解放感や，次の学年へ向けての不安などから，落ち着かない期間になります。「自分の安全や健康は自分で守る」春休みとなりますよう，親子での話し合いやご指導をお願いするとともに，４月からの次の学年へ向けての準備をお願いします。修了式での校長の話の概要です。

＜前半は３学期の各学年や児童会のがんばりなどを称える話をしました。割愛します。＞

今，修了証書を代表の人に渡しました。このあと担任の先生から，全員に渡されます。これは，今の学年の学習や活動をよくがんばって修了したことを表しています。「あゆみ」を見て，課題になっているところ，心配なところは，この春休みに取り組んでおいてください。

始業式や終業式にはいつも怪獣を紹介してきました。今日の修了式では１つだけ，しかも，何度も話してきた怪獣を紹介します。これまでもみなさんが出会ってきた怪獣で，これからも出会っていってほしい怪獣です。それは**「カッコイー」**です。各教室に「今年のめあて」を掲示してもらってあります。その中に，３つのカッコイー姿をあげてあります。

その１は，**おたがいを思いやると「カッコイー」**です。人をいじめることは一番カッコ悪いと思います。また，いじめを知っているのに黙っていることもカッコ悪いと思います。自分たちの力では解決できないことや，大人の力を借りて解決したいことを親や先生に相談することは「告げ口」や「チクること」ではなく，カッコイーことです。自分を大切にし，人を大切にし，おたがいを思いやるカッコイー人，カッコイークラス，カッコイー学年，そしてカッコイー小笠原小学校になってほしいと思います。

その２は，**おたがいを高め合うと「カッコイー」**です。授業中に誰も発言をしないと，発言しにくくなります。お互いを高め合う関係があると，あの人もこの人も，そして自分もと発言をして高め合えます。そんな授業がカッコイーと思っています。何かの役をやるときも，その役をやりたいと立候補する人があふれるクラスや学年がカッコイーと思います。いい影響を与え合い高め合う，カッコイー人・クラス・学年・学校になってほしいと思います。

その３は，**当たり前にできると「カッコイー」**です。児童会でも取り組みましたが，あいさつがあふれる学校はカッコイーと思います。時間を守ること，決まりを守ることもカッコイーことです。小笠原小の多くのみなさんはこれらのことができていてカッコイーと思いますが，それを意識しなくても当たり前にできることが，最上級にカッコイーことだと思っています。

小笠原小学校は，カッコイー姿をたくさん見ることのできる学校です。みなさんが，お互いを思いやり，高め合い，そしてそれらのことが当たり前にできるようになると，もっともっとカッコイー学校になります。小笠原小学校がさらにカッコイー学校になれるよう，まず，カッコイー春休みを過ごしてください。

紙面を借りて，ごあいさつさせていただきます。

１年間，本通信にお付き合いいただきありがとうございました。３年生以上の保護者の皆様には，３年間もお付き合いいただきました。おかげさまで，３年で２１８号（＋号外２号）を作成できました。さすがに今年はネタ詰まりで，生みの苦しみがありましたが，この紙面を作成している時間はとても楽しい時間でした。

さて，私こと，

この３月末をもちまして定年退職となります。３年前に本校に赴任したとき，よっぽどのヘマをしない限り，退職までは本校に奉職させていただけるとは思っていましたが，保護者の皆様のご理解とご協力をいただき，何とか過ごすことができましたことに感謝申し上げます。校長は１～２年で異動や退職になることが多いと思いますが，歴史と伝統のある，そして，私の母校である地元の小笠原小学校に，３年間も校長として勤めさせていただいたことは，何よりの誇りでありますし，ご褒美だと思っております。

残念なことにコロナ禍の３年間でした。子どもたちに我慢を要求することが多くなってしまい，申し訳なく思っています。また，地域の皆様や保護者の皆様には，どんどん学校にお出でいただいて，子どもたちの様子を見ていただき，一緒に参加していただくような行事や学習や活動の実践を，以前に勤務した学校で学んできていたのですが，それらがほとんどできませんでした。

しかし逆に，コロナ禍であったからこそ，それまでは当たり前だったことを再認識することもできました。３年前には３か月にも及ぶ臨時休業がありました。学校再開前の５月の分散登校のときには，今の３年生には入学前なのに登校をお願いしました。そして，臨時休業が終わり，令和２年５月２４日に入学式が実施でき，５月２５日から学校を再開することができました。その学校再開の初日…，

☆ 毎日，子どもたちが登校してくること
☆ 玄関が子どもたちの靴でいっぱいになること
☆ 休み時間に，たくさんの子どもたちが校庭で元気に遊んでいること
☆ 全ての教室の照明が点いて，教室から子どもたちや教職員の声が聞こえてくること

これらのそれまでは当たり前だったことが，こんなにもステキなことだったんだと一つ一つのことに涙があふれそうになったことを思い出します。

最後になっても脱線させてもらいます。退職後の４月からの生活を楽しみにしている自分がいるのですが，教員を３８年しましたので，長年のクセで，４月からも本校に勤務するつもりで考えている自分もいます。

□ ５年生担任が修学旅行の計画の相談に来たときに，
「〇〇ホテルに泊まるのか，あそこは＊＊だからなぁ」「おっと，オレはもう行かないんだった…」
□ 来年度のスキー教室の日程の相談があったときに，
「長男に貸してあるスキーウエアを取り戻さんとなぁ」「おっと，オレはもう行かないんだった…」
こんなことを考えては苦笑いをしながら打ち消すことを繰り返しています。

当然，４月からも小笠原の自宅に住んでいます。多分どこかの学校で仕事をしています。見守り隊の黄色いジャンパーを着てどこかに立っているかもしれません。ＰＴＡの環境美化作業には「ＯＫ会」の一員として参加したいと思っています。自宅の近所の「オギノ」にときどき出没するかもしれません。コロナ終息後は，居酒屋（自宅の２軒隣は「一夢亭」です）に入り浸っている可能性もあります。

小笠原小学校に勤務した３年間にいただいたご厚情に深く感謝いたします。小笠原小学校は，保護者の皆様と地域の皆様に支えられ，優秀な教職員が指導・支援をし，その中で子どもたちが，のびのびと元気に素直に育つ素晴らしい学校だと思います。卒業した子どもたち，これから入学してくる子どもたち，そして，在校している子どもたちに，幸せがあふれることを祈っています。

末筆ではございますが，保護者の皆様のますますのご活躍とご健勝をお祈り申し上げます。

小中一貫校南アルプス市立小笠原小学校　第４４代校長　飯久保一男